

# すがもらいぶらり

2020年11月5日 巣鴨図書館発行



すがもガーデン  
冬野菜の仕込み中です。

先月16日からフェスティバル/トーキョーという芸術祭のプログラムのひとつとしてサンモール大塚商店街内に「とびだせ！ガリ版印刷発信基地」が開設されました。誰もが気軽に立ち寄れる表現と交流の場として今月15日までの期間限定でオープンしています。ここに持ち込まれた個人が作成したZINE原稿(手作り印刷物の原稿)は、デジタル孔版印刷機で印刷され、区内各所に設置されたZINEスタンド置かれていきます。巣鴨を含む区内7か所の区立図書館にもZINEスタンドが設置されています。

ZINE原稿の作成には、なんと豊島区立図書館に勤務する図書館司書が全員参加しています。内容は、趣味の紹介・おすすめ本の紹介・図書館の利用方法の解説など様々です。皆さんに手に取ってご覧いただいている場面を想像しながら作成した力作揃いです。是非ZINEスタンドにお立ち寄りいただき、お気に入りの作品をお持ち帰りください。  
(館長)



最近のお楽しみは、  
ZINEを読むこと。  
今度は、自分のZINE  
を作りたいです！

イラスト作 S

## 今月の予定 ～おはなし会再開します～

がつよっか 11月4日 より予約制のおはなし会を再開します！  
よやくせい かい さいかい  
**ほんのじかん おはなしかい**

すい  
まいしゅう 水曜日 ①午後3:30～3:45  
ようび  
2回とも同じ内容です ②午後4:00～4:15

もうしこみ 申込み 電話またはカウンター  
でいん 定員 各回親子5組まで  
ばしょ 場所 すがもとしょかん 地下会議室

※マスクをつけてきてください。会場入り口で検温・消毒を  
します。ソーシャルディスタンスを保ちながら開催します。  
お問い合わせ 豊島区立巣鴨図書館 ☎3910-3608

## その他の予定

<日曜>新刊本を出します。  
新刊コーナーにご注目！

## 編集後記

いよいよ11月からおはなし会が再開  
します！  
お待たせしてしまいましたが、感染対  
策には、万全を期して開催する予定で  
す。  
ご予約の上、ぜひご参加ください。  
(M)

## 巣鴨図書館 今の特集 ～3カ所で実施中～



豊島区は「SDGs未来都市」と  
「自治体SDGsモデル事業」に  
ダブル選定されました！

## 知っていますか？SDGs



SDGs (エス・ディー・ジーズ) は、  
「Sustainable Development Goals」  
(サステナブル・開発目標・ゴールズ)の略称で、日本語に訳すと「持続可  
能な開発目標」となります。

2015年9月に国連サミットで決められた、2030  
年までに持続可能な世界を目指す国際目標で  
す。17の大きな目標と、それら達成するための具体的  
な169のターゲットで構成されています。  
地球上の「誰一人取り残さない」という共通理念のもと、  
先進国と途上国が一丸となって達成を目指す目標で構成さ  
れているのが特徴です。

巣鴨図書館では  
特設展示コーナーでSDGsに関連したおすすめ本を紹介しています。  
展示では、SDGsに関する基本的な内容をまとめた本から、  
17の目標それぞれに関する本まで取り揃えています。  
気になったテーマについて、お気軽に手に取ってみてください。  
●展示場所：1階 特設コーナー  
●展示期間：令和2年10月24日(土)～12月13日(日)

1階新刊コーナー横で実施中！  
この後、ワークショップやイベントも予定されて  
いますので、楽しみにしててください。



一般書は、2階特集コーナー  
児童は、1階特集コーナーで実施中

## じぞうくんの食レポリレー



巣鴨図書館で働く人の食事情を本と絡めながら語り、リレー方式で紹介していくコーナーです。

### 「肉まん」

以前の職場の同僚の話です。気の良い彼女の一日の始まりは肉まんでした。コーヒープレイクならぬ肉まんモーニングブレイク。毎朝隣でその美味しそうなにおいに心奪われつつ、私がいつも思い浮かべていたのは、遙か遠い昔見知らぬネコと一緒に食べた肉まんのことでした。

小雪の舞う一月下旬の寒い朝、デスク仕事に行き詰っていた当時の私はどうしても海が見たくなって鎌倉近くの小さな漁港にたどり着きました。ぼんやりベンチに座って海を見ていると足元で小さな白いネコがニャーニャー鳴きながらこちらの様子を伺っています。あいにく何にも持ち合わせが無かったので、少し離れたよろづ屋風の店（決してコンビニではありません）で、肉まんを一つ買って戻るとネコは私を見てやっぱりニャーニャー鳴いています。熱々の肉まんを半分に割って、フーフー冷ましてそっとベンチの下にちぎって置くと、よっぽどお腹がすいていたのか猛烈な勢いで食べ始め、あっという間に食べてしまいました。私も残りの半分を食べました。一人で食べるより全然美味しかった。

その後、私はそれまでの仕事を辞め新しい生活（実はフリーター）を始めることになりましたが、あれからどれ程の時が流れたでしょう。今でも私は肉まんを食べるとあの小さな白いネコのことを必ず思います。一緒に食べてくれてありがとう。隣の彼女は、今朝もハフハフしながら肉まんモーニングブレイク中。

(H.N.)

テーマに合わせた  
図書館蔵書を  
ご紹介

### お役立ち本

『中華まんのひみつ』学研プラス  
(588)

『こなもん屋馬子』実業之日本社  
田中啓文／著（タナ）

## じぞうくんのそぼくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。  
心にうつりゆく  
ちょっとした疑問を  
ここでつぶやいていくよ。

学校の宿題でZINEを作ることになったじぞうくん。まずはZINEが何なのかを調べることになりました。今回はちょっと苦戦したみたいですよ。

「ZINE」ってどういう言葉なのかなあ。  
今回は辞書にもあまり載ってないし、関連する本も少なかったんだよね。

①の本によると「誰にも頼まれていないけれど自分が作りたいから作る自主的な出版物」のことみたい。ニューヨーク公共図書館ウェブサイトには「様々なかたち、サイズ、フォーマットを持つ”ドゥイットユアセルフ (DIY)”のハンドメイドマガジン」というような説明があるんだって。

ZINEに関する調査はこのくらいにして、僕が作るZINEについてご紹介～。

ZINEの内容は文章やイラストを描いたり、写真をカラーシュしたり、自由に原稿を作っていくんだ。

僕は分からないことがあると、すぐ調べたくなるし、調べることが大好きなんだけど、それでZINEを作ってみようと思いついたんだよね。

大好きなものについては、だれでも詳しくなったりするでしょ？ZINEはそれを発表するツールの一つとして、面白そうだよ。

ちなみに今回、僕が作るZINEは、「世界のカブトムシ・クワガタムシ大戦 じぞうスペシャル」。  
それじゃ、次の調査に行ってくるね！

### じぞうくんが読んだ本はこちら

『日本のZINEについて知ってることすべて  
—同人誌、ミニコミ、リトルプレス—  
自主制作出版史 1960～2010年代—』  
誠文堂新光社 (051 ハ)

## じぞうさんぽ

### <医療の聖地でマニアック聖地巡礼>

2018年11月某日、朝。大阪の地下鉄堺筋線、北浜。駅前のホテルをチェックアウトした私は、その足で隣のブロックにある『少彦名（すくなひこな）神社』へと向かった。ビジネス街の隙間に鎮座する、隠れ家のような小さな神社。ここは実は知る人ぞ知る、日本医療の総鎮守である。祭神は、日本医療の祖神『少彦名命』と、中国医療の祖神『神農炎帝』というアジア最強タッグ。私が滞在していたわずかな間にも、二人連れの若い娘さんからスーツ姿の勤め人（医療系の営業マン？）まで、医療関係者と思しき善男善女が熱心にお参りしていた。

お参りの後は、神社のある道修町（どしょうまち）通りを散策。この通りは江戸時代から薬種問屋が多く、現在も製薬会社の本社や医療系の展示施設が軒を連ねている。通りを北に外れ、次の目的地『適塾』へ。ここは幕末の蘭学者、緒方洪庵の開いた私塾。実はまだ現存している。増改築を重ねた二階建て木造家屋の、一階が家人の住居と教室。狭く急な階段を上ると、二階が塾生の大部屋と勉強部屋。大部屋は屋根裏風の造りで、中心から少しずれたところに柱が一本立っている。この柱が何故かボコボコ。塾生が暴れた跡とのこと。ここで福沢諭吉や大村益次郎が学び、生活し、時にはやんちゃもしたのだろうと思うと、ちょっと不思議な感じがした。

帰京後読んだ『みをつくし料理帖 特別巻』に、故郷の大阪に戻った主人公の家が道修町にあるとの記述が（旦那様は町医者）。読んでから行けばよかった……。 (A)

旅のお供に  
おすすめの  
図書館  
蔵書をご紹介

### ともぼん お供本

『御朱印でめぐる関西の神社』  
ダイヤモンド・ビッグ社 (175 コ)

『天下の台所・大坂一函説大坂—』  
学研 (216.3 ス)